

監査結果の公表

(その1)

令和6年度 定期監査（その1）を実施した結果（一部抜粋）を次のとおり公表します。



▲全文はこちら

茂原市監査委員 風戸 博恭
茂原市監査委員 細谷菜穂子

◆監査の対象

【総務部】

総務課・秘書広報課・職員課・管財課・防災対策課

【企画財政部】

企画政策課・財政課・市民税課・資産税課・収税課

【会計課】・【議会事務局】・【農業委員会事務局】・【監査委員事務局】

◆監査の着眼点

各所管の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びにその他の事務の執行が法令等に適合し、適正かつ正確に行われているか、最少の経費で最大の効果を挙げ、組織及び運営の合理化に努めているかに主眼を置き監査を実施した。

◆監査の実施内容

各部署から提出された定期監査資料について、補助職員による予備監査を実施し、監査当日は、監査対象部署の長等から説明を受け、関係職員に対して質疑を行うことにより実施した。

◆監査の場所

茂原市役所

◆監査の期間

令和6年9月13日から11月18日まで

◆監査の結果

監査の結果、法令等に適合し、概ね適正に執行されていたが、一部検討が必要と認められる事項が見受けられた。なお、複数の部署に共通する事項については【共通事項】に掲げ、各部署への個別事項については【部署別事項】に掲げた。

【共通事項】

○全課共通

・新市長就任に伴い示された新たな施策や方針については、実現性等について鋭意検討し、的確に対応されたい。また、新市長のもと職員は、「行政の継続性」を念頭に置きながら、常に市民目線に立ち、市民サービスのさらなる向上に努められたい。

【部署別事項】

（総務部）

○総務課

・行政改革の推進にあたっては、行政改革推進指針第2次実施計画（R6～R8…3か年計画）の達成に向けた効果的な進管理方法を検討されたい。また、見直しを提案している事業については、総務課が積極的に関与し、着実に実現できるよう努められたい。

・今年度開始された「新しい芽（目）活動」^{※1}については、一定の効果が認められることから、より一層の事務改善とよりよい職場環境づくりを推進するためにも、今後も継続して取り組まされたい。また、さらに効果的な活動とするため、職員からの意見も参考にしながら、手法の見直しについても検討されたい。

○秘書広報課

・市公式ウェブサイトについては、閲覧者が容易にいち早く求めている情報にたどり着けるようにするため、キーワード検索の枠を広げるなど、ページ構成の見直しを検討されたい。また、新しいSNS

の開設や市公式LINEの機能強化など利便性の向上に取り組みとともに、より一層利用しやすく、分かりやすいものとなるよう努められたい。

・市民の幅広い意見や提言を聴き、市政に反映させることができる「市長と話し合う会」や「ふれあいミーティング」については、新たに市長が直接市民と意見交換ができる場を設けるなど、内容を一層充実させ、市民が安心して暮らせるまちづくりに繋がれたい。

○職員課

・複雑化・多様化する行政需要によるマンパワー不足により過重な業務負担が多々見受けられる一方、時間外労働の削減やワークライフバランスの推進に努めることが求められている。その解決策としては職員数を増やすことが必要であるが、厳しい財政状況の中、人件費の増加につながることから難しい状況にある。大変な舵取りであるが、様々な手法を検討しながら、効率的な組織運営に取り組まれたい。

・職員採用にあたっては、面接試験に専門的な民間事業者を活用するなど、従来の手法

にとらわれることなく、優秀な人材の確保に努められたい。

○管財課

・契約事務については、法令に基づき適正に執行する必要があることから、職員の知識習得に向け徹底した研修・指導に努められたい。

・民間提案制度に基づく空き公共施設の利活用については、提案のあった事業者と密接に連携を図りながら早期の対応努められたい。また、茂原市小林土地活用事業については、土地貸付契約期間の満了が迫っていることから、課題を整理しながら、新たに提案のあった優先交渉権者との契約に向け遺漏なく対応されたい。

○防災対策課

・自主防災組織の現状調査については、各組織がそれぞれ活動するうえで抱えている課題の把握に向け、調査内容を工夫しながら取り組まれたい。また、調査後はその結果を分析し、各組織の活性化に繋がるよう課題解決に向けた的確な取り組みに努められたい。

・地域防災訓練については、引き続き震災を想定した実践的な訓練を実施し、更なる危